

令和5年度 危険物取扱者試験 試験案内

消防法（昭和23年法律第186号）第13条の5第1項の規定により福島県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

一般財団法人 消防試験研究センター福島県支部

試験案内を最後までよく読んで、記載されている内容に同意したうえでお申込みください。

申込みをされた方は、試験案内に記載されたすべての事項に同意されたものとみなさせていただきます。

なお、以下の事項については特に御注意ください。

- 1 **第4回 令和5年6月11日(日)及び第9回 令和5年10月22日(日)**に実施する**郡山市【乙種第4類】**の試験は**電子申請のみの受付**となります。
(書面申請の受付はしませんので御留意ください。)
- 2 願書受付期間であっても会場の定員に達した場合等については、受付を締め切る場合がありますので御留意ください。
- 3 書面申請は受付締切日以降、電子申請は受付完了以降、**「試験日」・「試験の種類」等、申請した内容の変更及び取消しはできません。**
- 4 **一旦払込みされた試験手数料はお返しできません。**
- 5 願書には必ず「振替払込受付証明書（お客さま用）受験願書添付用」を貼付してください。
「振替払込請求兼受領証」では受付できません。（P6～7参照）
- 6 複数受験の場合には**試験の種類（2種類の場合は2枚、3種類の場合は3枚）毎に、それぞれ添付書類を付して受験願書を作成し、同一封筒で申請してください。（P6参照）**
- 7 書面申請の方は概ね試験日の10日前に受験票を郵送します。
電子申請の方は受験者本人が受験票をダウンロードし印刷（拡大・縮小不可）してください。
なお、受験票にはP12に記載してある指定の写真を貼り付け、試験当日必ず持参してください。（受験票を持参しないと受験することができません。）
- 8 試験当日の注意事項（P13参照）について追加・変更があった場合、センター福島県支部のホームページに掲載しますので必ず確認してください。
- 9 当該試験案内には、免状交付申請の手続き及び免状の交付（P15参照）について掲載していますので、結果通知書が届くまでは保管してください。
なお、合格された方は、免状交付申請書の「氏名」・「生年月日」・「本籍」について十分に確認のうえ、免状の交付申請をしてください。

願書の作成から免状の交付申請まで

試験概要を理解し、どの試験種類をいつ受験するか決める。

受験願書の作成・申請

書面申請：郵送等による申請

電子申請：インターネットによる申請

受験願書の作成

P 8～9 受験願書記入例参照

受験願書の提出 P 7 参照

受験票の受領 P 11 参照

受験票は試験日の約10日前に郵送します。

受験願書の作成提出 P 10 参照

(一財)消防試験研究センターのホームページから申請してください。
<https://www.shoubo-shiken.or.jp>

〈電子申請に関する問い合わせ先〉

(一財)消防試験研究センター電子申請室 TEL 0570-07-1000

受験票のダウンロード

受験票は申請者が印刷してください。(試験日の約10日前に「受験票印刷可能メール」が送信されます。)

受験票に写真を貼付 P 11～12 参照

試験日には、写真を貼った受験票を持参してください。

受験票には、試験室及び集合時間が記載されているので遅れずに集合してください。

受 験

合格発表 P 14 参照

合格の方

免状交付申請 P 15 参照

再受験する方

受験票(控)や結果通知書は、電子申請の資料にもなりますので大切に保管してください。
なお、甲種を受験された方は甲種を再受験する際の受験資格を証明する添付書類になります。

1 試験の種類

甲種、乙種及び丙種危険物取扱者試験を、次に掲げる区分ごとに行います。

試験区分	取 扱 い の で き る 危 険 物
甲 種	全種類の危険物
乙 種	第1類 塩素酸塩類、過塩素酸塩類、無機過酸化物、亜塩素酸塩類等の酸化性固体
	第2類 硫化りん、赤りん、硫黄、鉄粉、金属粉、マグネシウム等の可燃性固体
	第3類 カリウム、ナトリウム、アルキルアルミニウム、黄りん等の自然発火性物質及び禁水性物質
	第4類 ガソリン、アルコール類、灯油、軽油、重油、動植物油類等の引火性液体
	第5類 有機過酸化物、硝酸エステル類、ニトロ化合物等の自己反応性物質
	第6類 過塩素酸、過酸化水素、硝酸等の酸化性液体
丙 種	ガソリン、灯油、軽油等

2 受験資格

(1) 甲 種

受験資格が必要です。受験資格については、「甲種危険物取扱者試験の受験資格」(P16)を確認してください。

(2) 乙種・丙種

受験資格は必要ありません。どなたでも受験できます。

3 令和5年度 危険物取扱者試験日程

- ※ 新型コロナウイルス感染症等及び受験者数により、「試験日」及び「受験地」を変更させていただく場合がありますので、試験日の約10日前に送付される受験票で必ず確認してください。
- ※ 書面申請の受付期間と電子申請の受付期間は異なっておりますので御注意ください。
- ※ 受け付けを願書受付期間であっても締め切ることがありますので、センター福島県支部のホームページで確認してください。

実施回	種 類	試験日	受験地	受付期間	合格発表日
第1回	甲種全種類種 乙種全種類種	令和5年 5月19日(金)	広野町	書面申請：令和5年3月20日(月)～3月30日(木) 電子申請：令和5年3月17日(金)～3月27日(月)	令和5年 6月13日(火)頃
第2回	甲種全種類種 乙種全種類種	令和5年 5月20日(土)	いわき市		
第3回	甲種全種類種 乙種全種類種	令和5年 5月27日(土)	会津若松市	書面申請：令和5年4月4日(火)～4月13日(木) 電子申請：令和5年4月1日(土)～4月10日(月)	令和5年 6月20日(火)頃
第4回	甲種全種類種 乙種全種類種	令和5年 6月11日(日)	福島市	書面申請：令和5年4月10日(月)～4月20日(木) 電子申請：令和5年4月7日(金)～4月17日(月)	令和5年 7月4日(火)頃
	乙種第4類	令和5年 6月11日(日)	郡山市	電子申請のみ受付：令和5年4月7日(金)～4月17日(月) ※定員になり次第受付期間最終日前に締め切る場合があります。	
第5回	甲種全種類種 乙種全種類種	令和5年 7月1日(土)	白河市	書面申請：令和5年5月8日(月)～5月18日(木) 電子申請：令和5年5月5日(金)～5月15日(月)	令和5年 7月25日(火)頃
			南相馬市		
第6回	甲種全種類種 乙種全種類種	令和5年 7月21日(金)	広野町	書面申請：令和5年5月29日(月)～6月8日(木) 電子申請：令和5年5月26日(金)～6月5日(月)	令和5年 8月15日(火)頃
第7回	甲種全種類種 乙種全種類種	令和5年 7月22日(土)	いわき市		
第8回	甲種全種類種 乙種全種類種	令和5年 9月30日(土)	南会津町	書面申請：令和5年7月31日(月)～8月10日(木) 電子申請：令和5年7月28日(金)～8月7日(月)	令和5年 10月24日(火)頃
第9回	甲種全種類種 乙種全種類種	令和5年 10月22日(日)	福島市	書面申請：令和5年8月21日(月)～8月31日(木) 電子申請：令和5年8月18日(金)～8月28日(月)	令和5年 11月14日(火)頃
	乙種第4類	令和5年 10月22日(日)	郡山市	電子申請のみ受付：令和5年8月18日(金)～8月28日(月) ※定員になり次第受付期間最終日前に締め切る場合があります。	
第10回	甲種全種類種 乙種全種類種	令和5年 11月11日(土)	会津若松市	書面申請：令和5年8月28日(月)～9月7日(木) 電子申請：令和5年8月25日(金)～9月4日(月)	令和5年 12月5日(火)頃
第11回	甲種全種類種 乙種全種類種	令和5年 11月25日(土)	白河市	書面申請：令和5年9月11日(月)～9月22日(金) 電子申請：令和5年9月8日(金)～9月19日(火)	令和5年 12月19日(火)頃
			南相馬市		
第12回	甲種全種類種 乙種全種類種	令和6年 1月13日(土)	福島市	書面申請：令和5年11月6日(月)～11月16日(木) 電子申請：令和5年11月3日(金)～11月13日(月)	令和6年 2月6日(火)頃
	乙種第4類	令和6年 1月13日(土)	郡山市		
第13回	甲種全種類種 乙種全種類種	令和6年 1月26日(金)	広野町	書面申請：令和5年11月20日(月)～11月30日(木) 電子申請：令和5年11月17日(金)～11月27日(月)	令和6年 2月20日(火)頃
第14回	甲種全種類種 乙種全種類種	令和6年 1月27日(土)	いわき市		
第15回	甲種全種類種 乙種全種類種	令和6年 3月2日(土)	福島市	書面申請：令和6年1月8日(月)～1月18日(木) 電子申請：令和6年1月5日(金)～1月15日(月)	令和6年 3月26日(火)頃
	乙種第4類	令和6年 3月2日(土)	郡山市		
第16回	甲種第1・2・3・5・6種類種 乙種全種類種	令和6年 3月9日(土)	郡山市		令和6年 4月2日(火)頃

4 受験申請の方法

受験申請の方法は、書面申請（願書による申請）と電子申請（インターネットによる申請）の2通りです。

同一試験日に、書面申請と電子申請で重複して申請すること及び同じ種類の試験を2回以上受験することはできません。また、同一試験日に違う種類の試験を受験することはできません（「12 複数種類の受験」（P 6）で認められているものを除く）。

具体的な方法は、「13 書面申請の方法」（P 6～9）及び「15 電子申請の方法」（P 10）を御確認ください。

なお、試験開始時間の希望はできません。

5 試験手数料（非課税）

試験区分	金額	納入方法等	
甲種	6,600円	<ul style="list-style-type: none"> 書面申請の場合は指定の払込用紙で、 <u>郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払い込んでください。</u> （ATMによる払込みでは受付できません。） （詳しくは「試験手数料の払込み方法」（P 6）を確認してください。） 受験願書B面に「振替払込受付証明書（お客さま用）」をのり付けしてください。 電子申請の場合はそれぞれの手続きに従ってください。 一旦払い込まれた試験手数料はお返しできません。 	
乙種	第1類		4,600円 (類毎)
	第2類		
	第3類		
	第4類		
	第5類		
第6類			
丙種	3,700円		

6 試験科目、問題数及び試験時間

試験種類	試験科目	問題数	合計	試験時間
甲種危険物取扱者試験	① 危険物に関する法令（法令）	15問	45問	2時間 30分
	② 物理学及び化学（物化）	10問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	20問		
乙種危険物取扱者試験	① 危険物に関する法令（法令）	15問	35問	2時間
	② 基礎的な物理学及び基礎的な化学（物化）	10問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		
丙種危険物取扱者試験	① 危険物に関する法令（法令）	10問	25問	1時間 15分
	② 燃焼及び消火に関する基礎知識（燃消）	5問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		

試験科目の一部が免除される場合は、試験時間が短縮されます。

7 試験会場、集合時間及び試験開始時間

試験日の約10日前に送付される受験票（電子申請は受験者本人が印刷）で「試験会場」、「集合時間」及び「試験開始時間」を確認してください。**試験時間は受験票で指定した時間になります。**

試験の説明を行いますので、集合時間までに着席してください。

8 甲種危険物取扱者試験

受験資格は、別記1「甲種危険物取扱者試験の受験資格」(P16)のとおりです。

受験願書に該当する資格を記入するとともに証明書類を添付してください。なお、試験科目の免除はありません。

9 乙種危険物取扱者試験

- (1) 受験資格は、必要ありません。どなたでも受験できます。
- (2) 試験科目の免除

乙種危険物取扱者試験における試験科目等の免除については、次表のとおりです。

免除を希望される方は、受験願書の科目免除欄に記入するとともに、免状のコピーを貼付してください。

免除資格者	免除類別	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
乙種危険物取扱者免状を有する方	全 類	① 法令	全部免除	0問	10問	35分
		② 物化	全部免除	0問		
		③ 性消		10問		
火薬類免状を有する方	第1類 第5類	① 法令		15問	24問	1時間30分
		② 物化	一部免除	4問		
		③ 性消	一部免除	5問		
乙種危険物取扱者免状及び火薬類免状を有する方	第1類 第5類	① 法令	全部免除	0問	5問	35分
		② 物化	全部免除	0問		
		③ 性消	一部免除	5問		

〔備考〕 火薬類免状とは、次の免状をいいます。

- ◇甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状（火薬類取締法）
- ◇甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状（火薬類取締法）

10 丙種危険物取扱者試験

- (1) 受験資格は、必要ありません。どなたでも受験できます。
- (2) 試験科目の免除

丙種危険物取扱者試験における試験科目の免除については、次表のとおりです。

免除を希望される方は、受験願書の科目免除欄に記入するとともに、証明書類を貼付してください。

免除資格者	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組織法第51条第4項の消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方	① 法令		10問	20問	1時間00分
	② 燃消	全部免除	0問		
	③ 性消		10問		

11 試験案内等の入手方法

「試験案内・受験願書・払込用紙」は、一般財団法人消防試験研究センター福島県支部、又は、各消防本部（署）、福島県消防保安課で配付しております。

12 複数種類の受験

書面申請による同一試験日の複数種類の受験については下記のとおりです。

なお、電子申請はできません。

- (1) 既に他の乙種危険物取扱者免状を所持している方に限り、同時に3種類まで**乙1・2・3・5・6類試験のみ複数種類の受験ができます。**

試験時間は1種類につき35分です。

- (2) 乙種第4類と丙種の複数種類の受験はできません。
- (3) それぞれに受験願書（「振替払込受付証明書」「乙種危険物取扱者免状コピー」等添付書類を含む。）を作成し、同一封筒で申請してください。

13 書面申請の方法

- (1) 申請に必要な書類

書面申請で提出する書類は下表のとおりです。

提出書類	留意点	
① 受験願書	受験する種類（1種類につき1部）ごとに作成してください。また、同一日に乙種の複数受験を申請する場合は一緒に提出してください。（P8～9の記載例参照）	
② 振替払込受付証明書（お客さま用） ※ 郵便局窓口で押印される日附印があるもの	センター指定の「振替払込受付証明書（お客さま用） 受験願書添付用 」を受験願書B面（表）の指定の欄にのり付けしてください。（P9参照）	
③ 危険物取扱者免状のコピー	該 当 者 の み	既に危険物取扱者免状を1種類でも取得している方は、必ず受験願書B面（裏）の指定の欄にのり付けしてください。（P9参照）
④ 甲種受験資格を証明する書類		甲種を受験される方は、受験資格を証明する書類の提出が必要です。（P16参照）
⑤ 火薬類免状のコピー		火薬類の免状を取得している方で、乙種第1類又は第5類の試験科目の一部免除を受ける方は、証明する免状のコピーの提出が必要です。（P5参照）
⑥ 消防団員歴を証明する書類の原本及び消防学校の教育修了証の写し		丙種の試験科目免除を受ける方は、資格を証明する書類の提出が必要です。（P5参照）

※ 過去にいずれかの支部で甲種の試験を受験したときの受験票（控）又は試験結果通知書（資格判定コード欄に番号が印字されているもの）に限る。コピー可。）を提出することにより、甲種の実験資格の証明に代えることができます。

※ 過去の受験票、試験結果通知書を使用する場合も、受験資格の略称は必ず記載してください。（P16参照）

- (2) 試験手数料の払込み方法（書面申請の場合）

ア 受験願書と一緒に受領した所定の「払込取扱票」の金額欄に受験する試験の種類に応じた試験手数料を御記入のうえ、郵便局又はゆうちょ銀行の**窓口でお支払いください。**（ATM機では**払込まない**でください。払込取扱票の「**振替払込受付証明書（お客さま用）**受験願書添付用****」に日附印が押印されていないと受験申請できません。）

なお、払込手数料は申請者の負担となります。また、**一旦払込みされた試験手数料はお返しできません。**

イ 郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で受領した「**振替払込受付証明書（お客さま用）**受験願書添付用****」を受験願書B面（表）の指定の欄に貼り付けてください。（本人控え用の「振替払込請求書兼受領証」が貼り付けられている場合の申請は無効です。改めて「**振替払込受付証明書（お客さま用）**受験願書添付用****」を提出していただく必要があります。）

ウ 複数種類の受験の場合で試験手数料をそれぞれに払い込んだ場合は、それぞれの受験願書試験手数料欄に「**振替払込受付証明書（お客さま用）**受験願書添付用****」を貼り付けてください。

また、複数分の試験手数料を一括して払い込んだ場合は、試験種類の小さい方の受験願書（例：乙種第1類と5類の場合は第1類）の所定の欄に「**振替払込受付証明書（お客さま用）**受験願書添付用****」を貼り付け、他の受験願書には受験願書試験手数料欄にその旨（例：手数料一括払込み、乙1類に貼付）をメモ書きしてください。

受験願書B面（2枚目）の記入例

注意事項

- 1 試験手数料払込みの際に郵便局又はゆうちょ銀行の窓口（ATM機での払込みは不可）で受領した「振替払込受付証明書（お客さま用）」を受験願書B面（表）の指定の欄に貼り付けてください。
- 2 本人控え用の「振替払込請求書兼受領証」では、受験申請できません。
- 3 「振替払込受付証明書（お客さま用）」を紛失した場合、センターでは責任を負えません。その場合は、再度払込みをしてください。

振替払込受付証明書貼付例

【受験願書B面（表）】

払込取扱票の赤枠部分「振替払込受付証明書（お客さま用）」を受験願書B面（表）に貼り付けてください。

【払込取扱表】

この部分では受験申請できません。受験者本人控えになりますので、大切に保管してください。

各種証明書等貼付位置及び実務経験証明書記入例

【受験願書B面（裏）】

各種証明書等はこの部分にのり付けしてください。

危険物製造所等における実務経験2年以上で甲種を受験する方のみ必要です。

事業所（会社等）の印
証明者の役職印又は印

※両方必要

既得危険物取扱者免状（コピー）貼付欄

危険物取扱者免状

裏

危険物取扱者免状を取得している方はコピーを貼ってください。（裏面に記載事項のある場合は、裏面のコピーも貼ってください。）

必ず郵便局の日附印を確認してください。
※ 日附印がないものは無効

15 電子申請の方法

(1) 申請方法

インターネットで受験申請する場合は、下表の内容を確認し、一般財団法人消防試験研究センターホームページから申請してください。なお、**複数受験**を申請する方は必ず**書面で申請**してください。

種類	内 容	電子申請の可否	備 考
甲種	次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状を取得している方 ① 第3類(必須) ② 第5類(必須) ③ 第1類又は第6類のどちらか1つ ④ 第2類又は第4類のどちらか1つ	○	※ 電子申請するにあたっての主な留意事項は、次のとおりです。 ① パソコンやスマートフォンを使ってインターネットに接続でき、受験票(PDF)を自宅やコンビニ等のプリンター、複合機で印刷できること ② 携帯電話やフリーメールアドレスは迷惑メール対策等により、センターからのメールを受信できないことがあること(受験票のダウンロードにメールは不要) ③ 既に危険物取扱者免状を取得している場合は、免状の記載事項に変更がないこと ④ 乙種免状を取得している方で乙種試験を受験する方は、自動的に試験科目の一部が免除になること なお、詳しくは一般財団法人消防試験研究センターホームページの「電子申請に関するQ&A」を確認してください。
	上記以外の受験資格者(P16参照)	×	
乙種	第1類又は第5類を受験する方で、火薬類免状による科目免除を希望する方	×	
	上記以外の方	○	
丙種	5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方で、証明書による科目免除を希望する方	×	
	上記以外の方	○	
複数受験	既に乙種危険物取扱者免状を取得している方で、同一試験時間帯に乙種の試験を2種類又は3種類受験する方	×	

再受験	過去3年以内に書面申請又は電子申請し、受理された経過がある方で、同じ試験種類を再度受験する方(受験地は問いません。)	○	① 同一試験日に1種類のみ電子申請できます。 ② 入力時に前回の受験票(控)又は試験結果通知書が必要です。 ③ 前回の試験日の翌日から申請できます。 ④ 試験科目の免除の内容は前回の試験と同じになります。(試験科目の免除の内容は変更できません。)
-----	--	---	--

- 備考 ① 受験申請の受付時間は、受付開始日の9時00分から締切日の17時00分までとなります。(24時間対応)
 なお、書面申請の受付期間と電子申請の受付期間は、異なっていますので御注意ください。
 ② 危険物取扱者免状を取得していることによる甲種受験資格、乙種科目免除資格のある方でも、免状番号(免状の写真下に記載されている12桁の番号)のない古い免状をお持ちの方は電子申請できませんので、書面で申請してください。(電子申請には、免状番号の入力が必要なため)

(2) 試験手数料の払込み方法(電子申請の場合)

電子申請による払込み方法は、次の3種類から選択できます。なお、別途払込手数料が必要になります。

決済方法	決済内容
ペイジー(Pay-easy)	情報リンク方式 オンライン方式
コンビニエンスストア決済	セブン-イレブン ファミリーマート ローソン ミニストップ セイコーマート
クレジットカード決済	VISA マスターカード JCB アメリカンエクスプレス ダイナース

電子申請に関するお問い合わせ先

一般財団法人消防試験研究センター 電子申請室

専用電話(全国共通) 0570-07-1000(有料)

受付時間 9時00分~17時00分(土日祝日、年末年始を除く。)

一般財団法人消防試験研究センターホームページ <https://www.shoubo-shiken.or.jp/>



16 受験票及び写真について

- (1) 受験票に記載されている試験日、集合時間、試験開始時間、試験会場等を必ず御確認ください。
 なお、**指定された試験開始時間の変更はできません。**
- (2) 受験票（控）は、合格発表の確認に必要です。また、甲種を再受験される方は、資格の証明に代えることができますので、大切に保管してください。

受験票の送付 (印刷)	書面申請	試験日の10日前までに発送します。 受験票が届かない場合又は受験票を紛失した場合は、試験日の3日前（土日祝日、年末年始を除く9時00分～17時00分）までに福島県支部（024-524-1474）へ連絡してください。
	電子申請	試験日の10日前までに受験票をダウンロードできる旨のメールを送信します。 (受験票は添付しません。) 受験票は、 センターホームページの電子申請トップページからダウンロードし、印刷してください。(受験票は郵送しません。) 何らかの理由によりセンターからのメールが届かない場合でも、受験票のダウンロードは可能です。 受験票をダウンロードする際に入力する「電子申請受付番号」が不明な場合は、「電子申請状況確認」画面で確認してください。なお、それ以外のお問い合わせについては電子申請室（0570-07-1000）へ連絡してください。（土日祝日、年末年始を除く9時00分～17時00分）

【書面申請者用の受験票】（試験日の10日前までに発送します。）

危険物取扱者試験 受験票(控)

複数受験者座席番号(1234)

受験番号	E1-0001	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	アンザイ タロウ		
氏名	安齋 太郎		
試験日時	〇〇年〇〇月〇〇日 [1/2] 〇〇時〇〇分集合 〇〇時〇〇分試験開始		
試験会場	〇〇高等学校 〇〇市〇〇区〇〇町 1-1-1		
(試験室)	第〇〇試験室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	01
既得免状			

注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。
 受験票裏面の注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。
 次の場合は受験することができません。
 1 受験票がない場合
 2 受験票に写真を貼っていない場合
 3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
 この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込み
 に必要ですので、大切に保管してください。

危険物取扱者試験 受験票

写 真

縦 4.5cm × 横 3.5cm

写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載し6ヶ月以内に撮影したもの(無帽(宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。)、無背景、正面上三分身像) しっかりのり付けてください

複数受験者座席番号(1234)

受験番号	E1-0001	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	アンザイ タロウ		
氏名	安齋 太郎		
試験日時	〇〇年〇〇月〇〇日 [1/2] 〇〇時〇〇分集合 〇〇時〇〇分試験開始		
試験会場	〇〇高等学校 〇〇市〇〇区〇〇町 1-1-1		
(試験室)	第〇〇試験室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	01
既得免状			

8014211225050E100013 免なし
 001-01-0001 00001 (1234)
試験当日、この受験票は回収します。

必ず写真をのり付けて持参してください。なお、のりがはみ出さないように御注意ください。
※ セロハンテープ使用不可

住民票（危険物取扱者免状を取得している方は免状に記載）の氏名を記入してください。

【電子申請者用の受験票】（試験日の10日前までに受験票をダウンロードできる旨のメールを送信します。）

注意事項

- 次の場合は受験することができません。
(1) 受験票がない場合
(2) 受験票に写真を貼っていない場合
(3) 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
- 受験票に記載している集合時間までに入室してください。
- 受験票、鉛筆(B又はHB)、消しゴムを持参してください。
- 試験会場への電話の問い合わせはしないでください。
- 不正行為及び係員の指示に従わない場合は退場を命じ、失格とします。
- 本人確認のため、身分証明書(運転免許証等)の提示をお願いすることがあります。
- 電話による合否の問い合わせには、応じられません。
- 試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスは当センターと一切関係ありませんので、注意してください。
- 試験日時の変更が生じた場合は、当センターのホームページに緊急情報又は各支部からの重要なお知らせとして掲示します。
- 試験会場は全面無電です。

(一財) 消防試験研究センター 福島県支部
〒960-8043 福島県福島市中町4-2-0 みんなビル2F

危険物取扱者試験 受験票

写 真
縦 4.5cm × 横 3.5cm

写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載し、6ヶ月以内に撮影したものの(無帽(宗教上又は医療上の理由がある場合を除く)、無背景、正面上三分身像)しっかりと付けてください

複数受験者座席番号(1234)

受験番号	E1-0001	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	アンザイ タロウ		
氏 名	安齋 太郎		
試 験 日 時	〇〇年〇〇月〇〇日[1/2] 〇〇時〇〇分集合 〇〇時〇〇分試験開始		
試験会場	〇〇高等学校 〇〇市〇〇区〇〇町 1-1-1 (試験室) 第〇〇試験室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	01
既得免状			

8014211225050E100013 免なし
001-01-0001 00001 (1234)
試験当日、この受験票は回収します。

危険物取扱者試験 受験票(控)

複数受験者座席番号(1234)

受験番号	E1-0001	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	アンザイ タロウ		
氏 名	安齋 太郎		
試 験 日 時	〇〇年〇〇月〇〇日[1/2] 〇〇時〇〇分集合 〇〇時〇〇分試験開始		
試験会場	〇〇高等学校 〇〇市〇〇区〇〇町 1-1-1 (試験室) 第〇〇試験室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	01
既得免状			
受験者現住所			

注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。注意事項をよくお読みください。
受験の際は、試験会場をご確認ください。次の場合は受験することができません。
1 受験票がない場合
2 受験票に写真を貼っていない場合
3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込みに必要ですので、大切に保管してください。

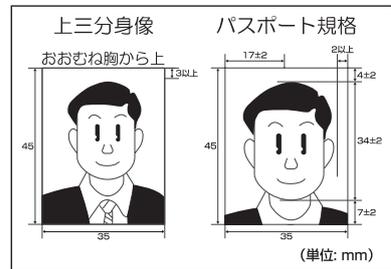
※ 試験科目の免除を受けずに乙種第4類を受験する場合の受験票例

【受験票にのり付けする写真】（免状作成時の写真に使用します。）

受験時の本人確認及び合格後の免状作成時に使用しますので、**下記条件を満たす写真を**反らないようにしっかりと受験票にのり付けしてください。(セロハンテープ使用不可、のりが写真からはみ出さないように) また、下記の**【不適切写真例】**のほか、免状用として不適切な写真である場合は、**写真の再提出が必要になります。**

【写真の条件】

- ・ 大きさ 縦4.5cm × 横3.5cm
- ・ 正面、無帽（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。）、無背景の上三分身像又はパスポート規格
- ・ 枠なし、鮮明なもの
- ・ 裏面に氏名、年齢及び撮影年月日を記入
- ・ 受験日前6ヶ月以内に撮影したもの
- ・ デジタルカメラで撮影されたものは、写真専用紙で印刷した鮮明なもの



【不適切写真例】

- ◎ 表面にキズのある写真
- ◎ イヤホン、サングラスやマスクを着用した写真
- ◎ 写真のコピー
- ◎ 普通紙に印刷したもの
- ◎ メガネフレームやメガネレンズの照明による反射、頭髪が目にかかっている写真等
- ◎ 画像処理（加工修正）を施した写真
- ◎ 背景と頭髪の色が同系色の写真

17 試験当日

(1) 持ち物

- ア 受験票（縦4.5cm×横3.5cmの写真のをり付けしたもの）
 - ※ 複数受験者は類ごとに必要です。
- イ 鉛筆又はシャープペンシル（いずれも HB 又は B）
- ウ プラスチック消しゴム

(2) 試験会場と集合時間

受験票に記載されている試験日、集合時間、試験開始時間、試験会場等を必ず御確認のうえ、**集合時間までに着席**してください。試験開始前に受験上の留意事項等を説明します。

(3) 試験の方法

種類	方法
甲種及び乙種	5肢択一式（マークシート方式）
丙種	4肢択一式（マークシート方式）

18 試験当日の注意事項

(1) 次の場合は受験できません。

- ア 受験票がない場合
- イ 受験票に写真が貼っていない又は本人と確認できない写真が貼っている場合
(試験会場には写真を撮影できる機械はありません。)

(2) 試験会場及び集合時間を確認して来場してください。

(3) 身分を証明する書類等の提示を求めることがありますので、試験当日は本人確認ができる写真付の証明書（運転免許証・学生証など）を持参してください。

(4) 電卓、定規類は一切使用できません。

(5) 試験時間の管理は、原則、試験会場に備え付けの時計で行います。 (試験監督員等が指示する場合を除き、腕時計等の時計は必ずカバン等にしまってください。)

(6) 携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の端末機器の使用はできません。 (端末機器は必ず電源を切りカバン等にしまってください。)

(7) 問題集は試験終了後回収します。持ち帰った場合は失格とします。

(8) 不正行為は失格とします。また、試験監督員等の指示に従わない場合は退場を命じ、失格とすることがあります。

(9) 試験会場は禁煙です。

(10) 試験会場への電話による問い合わせはしないでください。

(11) 迷惑駐車、違法駐車は絶対にしないでください。駐車に係るトラブル等は一切責任を負いません。場合によっては、退場を求めることがあります。

(12) 試験当日の特例措置（車椅子の使用等）を希望される場合は御相談ください。 (その対応については別途御連絡いたします。)

19 合格基準

甲種、乙種及び丙種危険物取扱者試験ともに、試験科目ごとの成績が、それぞれ60%以上であること。(試験科目の免除を受けた受験者については、その科目を除く。)

なお、乙種第1類又は第5類の受験者であって、前記9(2)により試験科目の一部が免除された方については、免除された以外の問題で上記の成績であること。

20 合格発表

- (1) 合格発表日は、P 3を御覧ください。
- (2) 合格者については、合格発表日の正午にセンターのホームページ上に受験番号を掲示します。また、福島県支部入口の掲示板に合格者の受験番号を公示するとともに、受験者には郵便ハガキで可否の結果を直接通知します。
なお、試験結果の可否に関する電話による問い合わせ、試験問題及びその解答に関する問い合わせには、一切応じられません。
- (3) 試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスはセンターとは関係ありませんので注意してください。

21 個人情報の取り扱いについて

センターは、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、取得した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

1 センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

① 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

② 利用目的

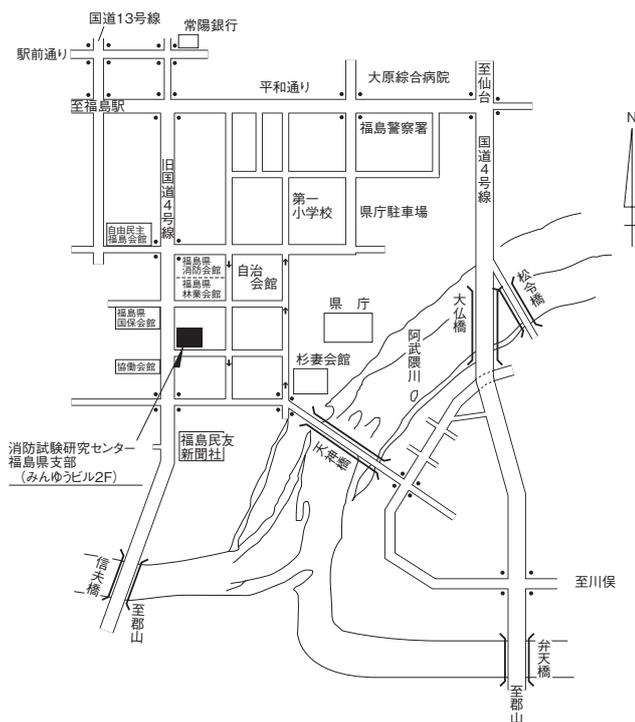
利用は、本人確認、本人への通知・連絡、免状作成、免状交付状況に係る事項等のセンター業務の範囲内で行います。

2 センターは、利用目的を達成するため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し、適切に取り扱います。

一般財団法人 消防試験研究センター 福島県支部 案内図

※ センター福島県支部には専用駐車場はありません。
原則、郵送でお願いします。



22 免状交付申請の手続き及び免状の交付

合格された方は、指定された日（免状交付申請書に記載）までに、次のものをまとめてセンター福島県支部まで、封筒に入れて原則郵送してください。（配達状況を確認したい場合は、簡易書留郵便や特定記録郵便を御利用ください。）

- (1) 免状交付申請書及び結果通知書……記載事項に誤りがないかを確認し、所要事項を記入してください。なお、印字された申請書の内容に誤りがあった方、電子申請で入力できなかった文字を訂正する方は、赤字で訂正してください。交付申請書と結果通知書は切り離さないでください。
- (2) 交付手数料……………**2,900円分の福島県収入証紙**を申請書裏面に貼ってください。（種類ごとに必要です。）セロハンテープで貼付しないでください。

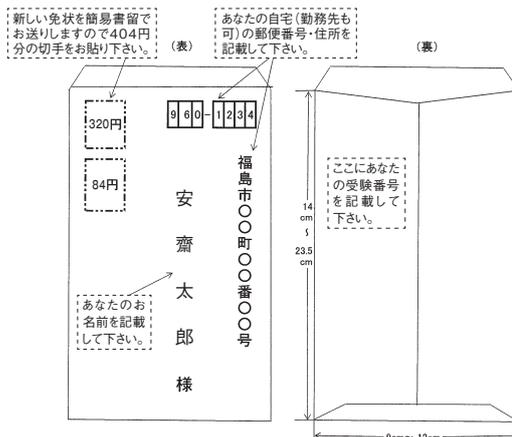
【福島県収入証紙販売場所】

収入証紙の主な販売場所は、次のとおりです。（※販売場所は変更となる場合があります。）

- [県北] 県庁売店、福島市役所売店、交通安全協会（警察署内）、運転免許センター売店、自動車学校
 - [県中] 県郡山合同庁舎売店、郡山保健所、交通安全協会（警察署内。但し、郡山警察署は警友会）、ハイテクプラザ、郡山女子大購買部、自動車学校
 - [県南] 県白河合同庁舎売店、交通安全協会（警察署内）、県南保健福祉事務所、自動車学校
 - [会津] 県会津若松合同庁舎売店、交通安全協会（警察署内）、会津若松保健福祉事務所、自動車学校
 - [南会津] 県南会津合同庁舎売店、交通安全協会（警察署内）、農協、自動車学校
 - [相双] 県南相馬合同庁舎売店、交通安全協会（警察署内）、農協、自動車学校
 - [いわき] 県いわき合同庁舎売店、いわき市役所売店、交通安全協会（警察署内）、農協、自動車学校
- 注：詳しくは、福島県ホームページ（「福島県収入証紙売りさばきについて」）を御覧ください。

- (3) 新規免状送付用封筒……………定形封筒（長さ14～23.5cm、幅9～12cmのもの）に**404円分（簡易書留郵便料）の切手**を貼り、表面に本人の住所（勤務先も可）、氏名を、裏面の上部左隅に受験番号を記入してください。（新たに交付された免状を申請者に送るための封筒です。）

【返信用封筒作製例】



- 2種類以上まとめて申請する場合でも、返信用封筒は1枚で結構です。（2名以上の申請で同一封筒を使う場合は、委任状等が必要となりますので、事前にセンター福島県支部へ連絡してください。）
- 切手はセロハンテープで貼付しないでください。

- (4) 既得危険物取扱者免状……………他の種類の免状をもっている方は、すべての免状を提出してください。（免状の紛失等又は、本籍の変更等がある場合は、再交付又は書換えが必要となりますのでセンター福島県支部へ連絡してください。）
なお、交付申請中に次の試験を予定している方は、受験願書に添付する免状のコピーを必ず用意してから交付申請してください。
- (5) 交付予定日……………交付申請書等受理日より1ヶ月ほどで交付します。

別記 1

甲種危険物取扱者試験の受験資格

次表に示す対象者に該当する方は、甲種危険物取扱者試験の受験資格があります。

対 象 者	大 学 等 及 び 資 格 詳 細	願書資格欄 記入略称	証 明 書 類
〔1〕 大学等において 化学に関する学 科等を卒業した 方 (次ページの別 表1参照)	大学、短期大学、高等専門学校、専修学校 大学・短期大学・高等専門学校・高等学校の専攻科、中 等教育学校の専攻科 防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大 学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等	大学等卒	卒業証明書 (原本) 又は 卒業証書 (コピー) (学科等の名称が明 記されているもの)
〔2〕 大学等において 化学に関する授 業科目を15単位 以上修得した方 (次ページの別 表2参照)	大学、短期大学、高等専門学校(高等専門学校は専門科 目に限る。)、大学院、専修学校 大学・短期大学・高等専門学校の専攻科 防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大 学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力 開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する 大学等	15 単 位	単位修得証明書 (原本) 又は 成績証明書 (原本) (修得単位が明記 されているもの)
〔3〕 乙種危険物取扱 者免状を有する 方	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所 等における危険物取扱いの実務経験が2年以上の方	実務2年	乙種危険物取扱者 免状(コピー) 及び 乙種危険物取扱 実務経験証明書 (原本)
	次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けて いる方(第3類と第5類は必須) ○第1類又は第6類 ○第2類又は第4類 ○第3類 ○第5類	4 種 類	乙種危険物 取扱者免状 (コピー)
〔4〕 修士・博士の学 位を有する方 (次ページの別 表1参照)	修士、博士の学位を授与された方で、化学に関する事項 を専攻した方(外国の同学位も含む。)	学 位	学位授与証明書、 学位記、修了証書 又は修了証明書 ※学位を取得して いること、かつ、 化学に関する事 項を専攻したこ とがわかるもの

〔備考〕

- 〔1〕の高等学校及び中等教育学校の専攻科については修業年限が2年以上のものに限ります。
- 〔1〕、〔2〕の専修学校については、修業年限2年以上、総授業時数1700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか次のいずれかの書面が必要になります。(ただし、表の証明書類に次の(1)又は(2)の内容が記載されている場合は、次の(1)又は(2)の書面は不要です。)
(1) 専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し
(2) 専修学校の専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1700時間以上であることを証明する書面(P19の書式例1を参照してください。)
- 〔2〕の大学、短期大学、高等専門学校、大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわらず算定することができます。放送大学も同様に算定できます。
- 〔2〕の「単位修得証明書」は、P19の書式例2を参照してください。
- 〔3〕の「乙種危険物取扱実務経験証明書」は、事業主等の証明書です。受験願書のB面裏の様式を使用してください。
- 旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業者及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細はお問い合わせください。
- 過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことのある方は、その時の受験票(控)又は試験結果通知書を提出することにより受験資格の証明書に代えることができます。(コピー可)
- 「願書資格欄記入略称」は、受験願書の「甲種受験資格」欄に記入するものです。
- 受験願書の氏名と各証明書の氏名が相違している場合は、戸籍抄本等の証明書類を添付してください。

別表 1

化学に関する学科等の例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
(ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 人類文化学科等)
- 2 次の表に示す学科又は課程等

化学に関する学科又は課程等の名称							
ア	安全工学科	コ	工業材料科	セ	製造薬学科	フ	物質生物科学科
イ	医療薬学科		厚生薬学科		生体機能応用工学科		物質生物工学科
エ	衛生薬学科		高分子学科		生体物質工学科		物質生命工学科
オ	応用原子核工学科		高分子工学科		生体分子工学科		物質生命システム工学科
	応用生物科学科		高分子材料工学科		生物応用工学科		物質分子科学科
	応用生物工学科	サ	材料開発工学科		生物機能工学科		物質分子学科
	応用生命科学科		材料科学科		生物工学科		物質理工学科
	応用生命工学科		材料科学工学科		生物資源科学科		プロセス工学科
	応用微生物工学科		材料加工工学科		生物資源利用学科		分子工学科
カ	環境生命科学科		材料学科		生物生産科学科		分子システム工学科
	環境物質工学科		材料機能工学科		生物分子科学科		分子生物学科
	環境マテリアル学科		材料工学科		生物薬学科		分子生命科学科
キ	基礎理学科		材料物性学科		精密素材工学科		分子素材工学科
	機能高分子学科		材料物性工学科		精密物質学科	マ	マテリアル科学科
	機能高分子工学科		材料プロセス工学科		生命理学科		マテリアル工学科
	機能材料工学科	シ	色染工芸学科		製薬学科	ム	無機材料工学科
	機能物質科学科		資源工学科		繊維工学科	ヤ	冶金学科
	機能分子工学科		資源素材工学科		繊維高分子工学科		冶金工学科
	金属加工工学科		システム量子工学科	ソ	総合薬学科		薬科学科
	金属学科		食品科学科		総合薬品科学科		薬学科
	金属工学科		食品学科		素材工学科		薬剤学科
	金属材料学科		食品工学科	ト	塗装科		薬品科学科
	金属材料工学科		食品工業科学科	ハ	醗酵工学科	ユ	有機材料工学科
ケ	原子工学科		食料科学科		醗酵生産学科	ヨ	窯業工学科
	原子力科		森林資源科学科		物質科学科	リ	林産学科
	原子力工学科	セ	製剤学科	フ	物質科学工学科		林産工学科
	原子炉工学科		製糸学科		物質工学科		

別表 2

化学の授業科目例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目
(ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 進化学等)
- 2 次の表に示す授業科目

化学の授業科目の名称							
ア	アモルファス物性工学	エ	エレクトロニクス材料工学	カ	化工熱力学	カ	官能基変換論
	安全管理学	オ	応化・プロセス工学		化工物理学	キ	機器分析
	安全工学	カ	回折結晶学		化工流体工学		機能高分子学
	安全防災工学		界面工学		化石エネルギー		機能性高分子材料学
イ	移動現象論		界面制御学		火薬学		機能性材料工学
	移動速度論		界面電子工学		ガラス工学		機能性触媒工学
	医薬品安全性学		界面物性		ガラス材料		機能性有機材料
	医薬分子設計学		科学史		ガラス状態論		機能セラミック論
	医用高分子機能学		核燃料工学		ガラス物性		凝固論及び結晶生成
エ	衛生工学		核燃料サイクル特論		環境汚染物質分析学		金相学
	衛生薬学		核融合概論		環境物質工学		金属学
	栄養学		核融合工学概論		感光物性論		金属加工学
	エレクトロセラミック		化工熱工学		岩石学		金属工学

キ	金属材料学 金属材料工学 金属製錬学 金属組織学 金属の相変態 金属表面处理 金属物性	サ	材料解析 材料開発工学 材料科学 材料加工学 材料強度学 材料強度物性学 材料結晶学 材料工学 材料構造解析学 材料精製工学 材料精密工学 材料組織学 材料組織形成論 材料熱力学 材料反応学 材料物性学 材料物理学 材料プロセス設計 錯塩基及び酸化還元	セ	生体分子工学 生体分子反応 製鉄製鋼耐火物 生物機能開発学 生物機能工学 生物機能利用学 生物工学 生物資源科学 生物資源利用学 生物反応工学 生物物性学 生物分子科学 生物薬学 精密材料物性 精密素材工学 精密分離工学 精密有機合成特論 製薬学 生理活性物質学 精錬漂白論 石油開発工学 石油生産工学 接合学 接着及び接着剤 接着学 セメント工学 セラミック科学 セラミック基盤材料 セラミック工学 セラミック材料学 セラミック概論 セラミック材料工学 セラミック電子材料 セラミックプロセスング セルロース科学 繊維高分子工学 選鉱学 先端材料物性特論	テ	電解反応 電気材料学 電気電子材料科学 電気電子材料学 電極反応論 電子材料 電子物性 伝熱工学 同位体地球科学 毒劇物学 特殊機能セラミック 毒性学 毒物学 土壌学 塗装学 塗料工業科学 ニューセラミック学 燃焼学 燃焼工学 燃焼熱工学 燃焼物理科学 粘土工学 燃料工学 燃料工業 燃料燃焼潤滑論 燃料燃焼論 燃料分析学 農薬学 バイオテクノロジー バイオプロセス工学 培養工学 爆発工学 薄膜材料工学 醗酵学 醗酵工学 醗酵工業論 醗酵生産学 パルプ学 パルプ工学 半導体工学 半導体材料 半導体デバイス工学 反応工学 反応性物質材料 反応操作 反応速度論 非金属材料 非晶質科学 微生物遺伝学 微生物学 微生物機能学 微生物工学 非鉄材料学 非平衡論 表面・界面工学 表面工学
ケ	計算溶液特論 結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学 原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料	シ	色彩工学 色染実験 システム安全工学 焼結固体反応論 焼成材料 醸造学 醸造工学 醸造工業概論 状態方程式特論 触媒工学 触媒設計 触媒反応工学 食品衛生学 食品栄養学 食品科学 食品工学 食品工業微生物学 食品分析学 植物分子生物学 人工結晶 人造繊維工学 新薬論	ソ	相平衡論 相変態論 素材工学 耐火物概論 耐熱材料特論 多結晶材料工学 単位操作 単位反応学 単結晶材料工学 蛋白質工学 超高温材料 調剤学	ト	毒劇物学 特殊機能セラミック 毒性学 毒物学 土壌学 塗装学 塗料工業科学 ニューセラミック学 燃焼学 燃焼工学 燃焼熱工学 燃焼物理科学 粘土工学 燃料工学 燃料工業 燃料燃焼潤滑論 燃料燃焼論 燃料分析学 農薬学 バイオテクノロジー バイオプロセス工学 培養工学 爆発工学 薄膜材料工学 醗酵学 醗酵工学 醗酵工業論 醗酵生産学 パルプ学 パルプ工学 半導体工学 半導体材料 半導体デバイス工学 反応工学 反応性物質材料 反応操作 反応速度論 非金属材料 非晶質科学 微生物遺伝学 微生物学 微生物機能学 微生物工学 非鉄材料学 非平衡論 表面・界面工学 表面工学
ク	高温材料 高温反応工学 光学活性体合成論 高機能材料特論 高機能材料プロセス特論 工業火薬学 工業材料 工業排水処理 工業爆薬学 工業反応速度論 工業微生物 工業分析 格子欠陥 公衆衛生学 高重合反応 合成鉱物 抗生物質 厚生薬学 合成薬品製造学 構造用金属材料 酵素利用学 鋼中非金属介在物 鉱物学 高分子科学 高分子学 高分子工学 高分子合成 高分子構造 高分子固体構造論 高分子コロイド科学 高分子材料学 高分子反応 高分子物性論 固相変態論 固体反応 固体表面科学 固体物性論 固体平衡論 コロイド学	ス	水質学 製剤学 製剤工学 製紙科学 製紙学 製紙工学 製造薬学 生体機能工学 生体機能電気科学 生体機能利用学 生体工学 生体高分子学 生体触媒学 生体光反応学	タ	耐火物概論 耐熱材料特論 多結晶材料工学 単位操作 単位反応学 単結晶材料工学 蛋白質工学 超高温材料 調剤学	ニ	ニューセラミック学 燃焼学 燃焼工学 燃焼熱工学 燃焼物理科学 粘土工学 燃料工学 燃料工業 燃料燃焼潤滑論 燃料燃焼論 燃料分析学 農薬学 バイオテクノロジー バイオプロセス工学 培養工学 爆発工学 薄膜材料工学 醗酵学 醗酵工学 醗酵工業論 醗酵生産学 パルプ学 パルプ工学 半導体工学 半導体材料 半導体デバイス工学 反応工学 反応性物質材料 反応操作 反応速度論 非金属材料 非晶質科学 微生物遺伝学 微生物学 微生物機能学 微生物工学 非鉄材料学 非平衡論 表面・界面工学 表面工学
コ	細胞培養学	セ		チ	超高温材料 調剤学	ネ	燃焼学 燃焼工学 燃焼熱工学 燃焼物理科学 粘土工学 燃料工学 燃料工業 燃料燃焼潤滑論 燃料燃焼論 燃料分析学 農薬学 バイオテクノロジー バイオプロセス工学 培養工学 爆発工学 薄膜材料工学 醗酵学 醗酵工学 醗酵工業論 醗酵生産学 パルプ学 パルプ工学 半導体工学 半導体材料 半導体デバイス工学 反応工学 反応性物質材料 反応操作 反応速度論 非金属材料 非晶質科学 微生物遺伝学 微生物学 微生物機能学 微生物工学 非鉄材料学 非平衡論 表面・界面工学 表面工学
カ		シ		テ	鉄鋼材料学 鉄鋼表面处理 鉄冶金 定性分析 定量分析 電解製錬工学	ハ	バイオテクノロジー バイオプロセス工学 培養工学 爆発工学 薄膜材料工学 醗酵学 醗酵工学 醗酵工業論 醗酵生産学 パルプ学 パルプ工学 半導体工学 半導体材料 半導体デバイス工学 反応工学 反応性物質材料 反応操作 反応速度論 非金属材料 非晶質科学 微生物遺伝学 微生物学 微生物機能学 微生物工学 非鉄材料学 非平衡論 表面・界面工学 表面工学

ヒ	表面分析 肥料学 フ	分子解析学 分子機能 分子機能設計学 分子構造論 分子シミュレーション特論 分子情報計測学 分子生物科学 分子生物学 分子設計論 分子素材工学 分子熱力学 分子微生物学 分子薬理学 粉体工学 分離科学 分離工学 分離システム工学 分離装置工学 粉粒体工学	ム	無機材質学 無機材料工学 無機電子制御反応 無機薬品製造学 免疫薬剤学 木材化学 木材成分学 木材糖化論 木質材料学 木質資源化学 木質資源工学	ユ	有機金属 有機構造解析 有機材料工学 有機材料工業論 有機材料設計 有機材料表面科学 有機材料物性 有機材料レオロジー 有機電解合成論 有機反応機構 有機反応論 有機分析学 有機薬品製造学 融体物有機材料電子物性	
	複合材料機能学 腐食及び防食学 物質移動プロセス特論 物質科学 物質工学 物質構造解析論 物質構造論 物質生科学 物質生物工学概論 物質プロセス工学 物質分析法 物性科学 物性子測論 物性論 物体学 物理薬学 プラントエンジニアリング プロセス工学 プロセスシステム工学 プロセス制御工学 プロセスダイナミクス プロセス熱力学 分光分析 分散系物性学 分子遺伝学	ヘ	平衡論 平衡・反応論	メ	冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学 薬剤学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学 薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学	ヨ	窯業工学 窯炉工学
	マ	膜機能工学 マテリアル工学	モ	冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学 薬剤学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学 薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学	リ	粒子線結晶学 量子分光学 量子力学 林産学 林産工学 林産製造学 林産物製造学 臨床薬学 臨床薬理学 レオロジー	
	ミ	水処理工学 水処理実験 水の分子工学特論	ヤ	冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学 薬剤学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学 薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学	レ	融体物有機材料電子物性	
			ユ	有機機器分析 有機機能性材料			

書式例1 専修学校用受験資格証明書

○○第 号

甲種危険物取扱者試験受験資格証明書(専修学校用)

○○年 月 日 入学 ○○科○○コース
○○年 月 日 修了

氏名 ○○ ○○
年 月 日生

学校教育法第124条に定める専修学校として認可を受けた日及び文書番号 ○○年 月 日 号	
課程の名称	○○○○専門課程
修業年限	2年
課程の修了に必要な総授業時数	1700時間

上記のとおり証明する。
年 月 日
(専修学校の所在地)
○○専門学校 学校長 氏名 ○○ ○○印

書式例2 単位修得証明書

○○第 号

単位修得証明書

○○年 月 日 入学 ○○部 ○○科
○○年 月 日 修了

氏名 ○○ ○○
年 月 日生

化学に関する 科目名	修得 単位	化学に関する 科目名	修得 単位
有機化学	4	高分子化学	2
無機化学	4	分析化学	2
燃焼工学	3	反応速度論	2

上記のとおり証明する。
年 月 日
○○大学 学長 氏名 ○○ ○○印

《注》 証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

《注》 証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

《注》 学長等が「化学に関する分野」と認めた授業科目は、原則として、そのまま単位として認めます。

受験願書提出前に下記をチェックしてください。

○	チ ャ ッ ク 項 目
	試験日、受験願書受付期間、試験種類、受験地を確認しましたか。
	「振替払込受付証明書（お客さま用） 受験願書添付用 」を貼りましたか。 郵便局の日附印を確認してください。（日附印がないものは無効です。）
	受験資格又は科目免除を受けるための、資格を証明する書類等を添付しましたか。
	危険物取扱者免状の交付を受けている方は、科目免除に関係なく、 危険物取扱者免状のコピーを貼ってください。

※当案内には、合格後の免状交付申請手続きも記載されていますので、試験結果通知書が届くまで保管してください。

※受験願書は、受験を希望する都道府県の支部等に郵送してください。

福島県支部へ**郵送**する際、宛名ラベルとしてなるべく使用してください。

↓ ↓

（宛先不明の場合は受け取ることができません。）

〒960-8043
 福島市中町4-20 みんなビル2階
 （一財）消防試験研究センター福島県支部 宛

（令和 年 月 日試験分 受験願書在中）

【差出人】 住 所 _____

氏 名 _____

- 願書は折り曲げずに郵送してください。
- 受験願書受付期間最終日の**消印があるもの**まで受付けます。
場合によっては、受付期間最終日より前に締め切る場合もありますので御注意ください。
- 郵便料金を確認して送付してください。**不足している場合は受け取ることができません。**
- 書面申請の場合、受験願書の提出は、原則郵送でお願いいたします。

【お問い合わせ先】

○**書面申請**に関するお問い合わせ
 〔福島県支部〕 電話 024-524-1474 FAX 024-524-1475

○**電子申請**に関するお問い合わせ
 〔電子申請室〕 電話 0570-07-1000（有料）

【受付時間：9時00分～17時00分（土日祝日、年末年始を除く）】

※一般財団法人消防試験研究センターは試験実施機関であり、受験準備のための講習会や参考書等の出版は、一切行っておりません。